

超小形端子台形信号変換器 **M5X・UNIT** シリーズ

取扱説明書	PC スペック形、補助電源不要	形式
	電力マルチ変換器	M5XWTU

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・変換器 1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。コンフィギュレーションは PC にて設定可能です。詳細は、コンフィギュレータソフトウェア（形式：PMCFG）の取扱説明書をご参照下さい。コンフィギュレータソフトウェアは、弊社のホームページ <https://www.m-system.co.jp> よりダウンロードが可能です。また、Modbus の使用方法については、Modbus 用取扱説明書（NM-2768-B）をご参照下さい。

ご注意事項

●補助電源

本器には補助電源用入力端子はありません。動作用の電源は、電圧入力端子 P1-P2 から生成されますので、この端子間にて 3 VA の電力が消費されます。

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、入力信号を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -20 ~ +65℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

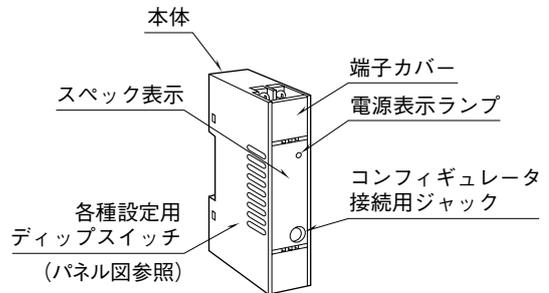
●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- ・遠方より引込む配線には、各種避雷器を設置して下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称

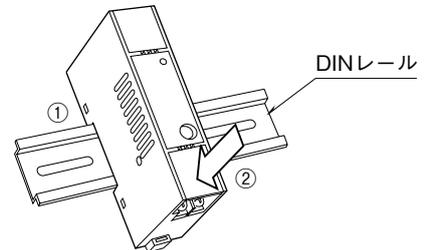


取付方法

本体はスライダのある方を下にして DIN レールに取付けて下さい。

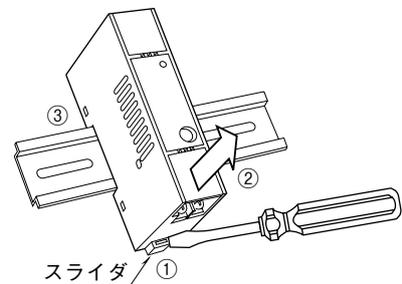
■取付ける場合

- ①本体裏面上側のフックを DIN レールに掛けます。
- ②本体下側を押込みます。



■取外す場合

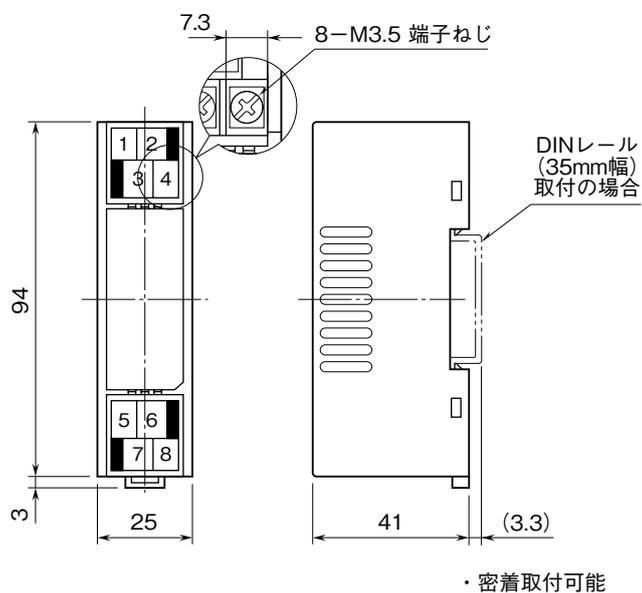
- ①マイナドライバなどでスライダを下に押下げます。
- ②手前に引いて本体下側を取外します。
- ③本体上側を DIN レールから取外します。



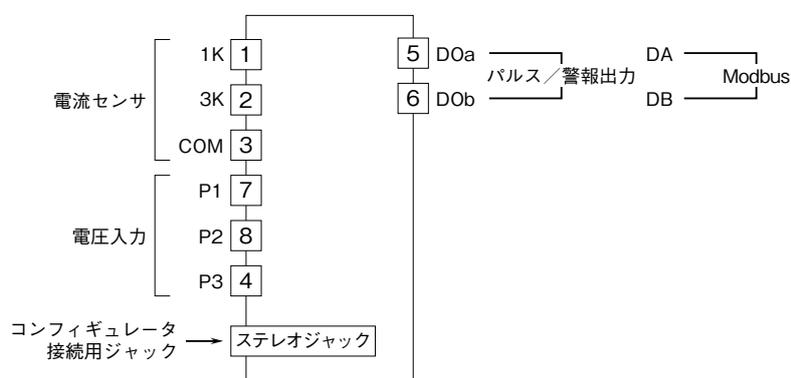
接 続

各端子の接続は端子接続図もしくは本体前面の結線表示を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位 : mm)



端子接続図



結線図

システム/ アプリケーション	結線図	システム/ アプリケーション	結線図
単相2線		単相3線 三相3線	

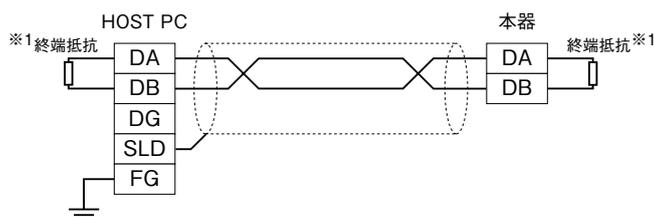
注) CTはCLSEを使用して下さい。

低圧回路では接地は不要です。

簡易計測モード時（電圧値および力率は固定）も内部電源生成のためP1-P2間に電圧を印加する必要があります。

通信ケーブルの配線

■HOST PCとの配線



※1、内蔵の終端抵抗を使用する場合、終端抵抗接続スイッチをONにして下さい。

配線

■端子ねじ

締付トルク：0.8 N・m

